

「65歳からの冒険～日本語講師で外国生活～」

(特別寄稿) 日本語講師

野村 研三 氏



想い起^こすと、少年時代の「夢」は外国で暮らすことだった。完全退職・リタイアの今こそは、自由に「夢」を実現できそうだ。少しは危険な冒険で無理もあるかもしれない。でも…、少年時代の野山での探検のような冒険心が頭をもたげて、65歳のわが身に心地良い。

420時間の日本語教師養成講座で資格を取得して選んだのは、ベトナム・ハノイでの100日間の日本語講師生活だった。

ハノイでの庶民生活

2011年6月5日夜十時、ハノイのノイバイ空港から外に出ると、熱風に目が眩みそうになり、軀^{しゆ}じゅう汗^{ばん}できた。

夜十一時、ハノイ国家貿易大学日本語学科長・八才教授の案内で大学関係者のアパートに着いた。

古いコンクリートの5階建て、通路階段には裸電球がぽつん・ぽつんと霞んで見えるだけで足元もおぼつかない。真っ黒なイモリが突然横切った。わたしの部屋は最上階。また全身が大汗で濡れてきた。

ひとり寝の夜が明けて、さあーて、ハノイ生活一日目、夕方にでもなると「シジミ」や「豆腐・油揚げ」を売る声が聞こえてくる。

夕食前、路地いっぱいに大声で遊ぶ子供たちの声が賑やかで、どこか懐かしい風景だ。

ああーこの情景、風情…、これは(映画)『丁目の夕日』の世界だ)と思った。映画の舞台となつた東京下町の庶民生活と風情が瞼に重なってきた。映画の時代設定は日本の昭和39年、私がはじめて東京で生活した年だった。

青春時代が甦^{よみが}て懐かしい。

日本語の授業

日本語専門学校『ドンドー・日本語センター』で日本語を教えていた。

学習者は昼・夜300人で、初級・中級・上級など日本語能力に応じて5段階にクラス編成されている。初級クラス(N2, N4)では「あい・い・う・え・お」から始まり、自分の名前・出身地・両親の職業や自分の趣味が言えるよう学習する。

中級クラス(N3)では、『竹とり物語』『うらしま太郎』などの日本の昔物語や生活習慣など、簡単な漢字交じりの文章を読み書きできるように学習する。

上級クラス(N2, N1)は大学の日本語学科卒業程度の実力をもつており、さらに専門用語を学習して、日本語の新聞社説はしつかりと理解できる実力を身につける。

日本の大学に公費負担で研究生・留学生で来ている学生は在学中にN1の日本語能力検定試験に合格している。



熱心に教える野村先生



ハノイの学生・現地の先生との授業風景

先生！わたしが案内します

晴れた土曜、日曜の休日には日本語センターや国家貿易大学の女子学生なども、先を競つて「先生！今日はわたしが美しいハノイ市内をバイクで案内します」と声をかけてくれた。道路の道幅いっぱいに洪水のように流れるバイクの波は、横断するのはもちろんのこと、バイクの後ろに相乗りするなど、恐怖そのものだった。それでも、何十回も彼らと、恐怖のバイクに相乗りすることでできるようになった。わたしが恐怖心と戦い、超えることができるのには、清々しく、実に瑞々しい「朝取り野菜」のようなベトナムの若者の新鮮さだったように、今想い返している。

自由な想いが現実を変える

自分の過去の肩書きも職責も、すべて記憶の奥底に仕舞い込み、自分だけの自由な冒険に想いを膨らませて行動するのは楽しい。楽しいことは、少々の危険も苦痛も乗り越える。毎日の仕事でも疲れ果てていたとき、属性を捨てて、ふっと少年時代を想いおこしてみると、心の中の風景が変わってくるのかもしれない。

変わった心の風景で現実に戻ると、他人の評価や世間のきれいごとの常識が、吹き飛んでしまう。さあーて、そこからが自分だけの冒険と探検のはじまり、はじまりー。

そして、目の鱗^{うき}が落ち現実が変わってくる。

本機関誌の購読を御希望の方は、下記宛てに御連絡下さい。郵送・メール配信のいずれかで御送り致します(4回/年発行)。

E-mail : takesi-w@indigo.plala.or.jp Tel : 0238-40-0761 Fax : 0238-40-0765(山形大学工学部街中サテライト)

『私とMOT』シリーズ編

MOT二期生 株式会社内銀行

白澤 司朗 氏

入学のきっかけ

私の場合は一般的なパターンと違った形で入学することとなりました。勤務先の銀行から山形大学地域共同センター（現在の国際事業化研究センター）に出向の辞令があつたのが一番のきっかけです。

あれは平成18年7月のことであり、それまでは米沢市内の支店に勤務していましたが、工学部に通勤することとなつたのです。それから学連携に関する活動が始まりました。そこでMOTの存在を知り、当センターの上司だった小野教授の勧めと銀行の理解、協力があつて、10月から後期入学をすることが出来ました。今思えば、運良く恵まれた機会だつたと思います。

・在学中について

入学は出来たものの、それからが結構大変でした。それまでは銀行員としてそれなりのキャリアしか積んでいないのに、全くの別世界が待っていたからです。最初は、技術用語や工作機械の名前など聞きなれない言葉から覚える必要がありました。

まわりの同期生にとっては技術系の方も多く、当然のことだったと思います。また後期入学の自分にとっては、ただでさえ習得度合いに出遅れ感があつたため、何とかついでいこうと思いつが募りました。

中でも印象深い講義は生産工学特論で、米沢市内の企業の製造現場をお預かりして、現場改善の実習を行つたことです。とにかくいろいろな講義や同期生からの刺激を受けて、これまでの自分の世界がいかに小さいものだったかを思い知らされました。



地共研出向時代の私

これから

現在は山形市内の銀行本部に戻つて4年になります。6次産業ビジネスをはじめ、いろいろな中小企業の課題解決のお手伝いをさせていただいております。（続く）



銀行に戻り中国(上海)のネットビジネス事情を視察

「コーヒーで、こんにちは！」

今回ご登場頂くのは、3月3日雑祭りにかわいい女の子の父親となられました國分裕其さん(MOT4期生)です。現在は山形大学総務部人事課でご活躍されていらっしゃいます。

組織の課題解決に寄与する論文にて2010年に修士号を得後、さらにその知識を大学、地域、日本のために活かしたいとの思いから博士号へと進まれています。

MOTで学んだ様々な経営学の知識は、素敵な奥様を射止めるためにも絶大な武器になったそうです。仕事にもプライベートにも人生をよい方向に向かわせる山形大学MOTのこと、私も大いに同感致しました。これからも益々スーパーマンとしてご活躍下さい。

おめでとうございます！



(インタビュー…黒田三佳 編集委員)



（続き）山形大学に通つた2年間で得たものは、とても大きく、MOTで得た知識、論理的思考、プレゼン力、人的ネットワークなど現在も業務のあらゆる場面で役立っております。さらには、社会貢献という意識が培われたのも山形大学MOTのおかげです。私の場合は、地域金融機関とMOTをベースとして地域の問題解決を通じて、少しでも社会貢献を果たしていくと思えるようになりました。Y-MOTネットワークは山形県の大切な財産であり、そのような社会的使命を十分果たせるものと確信しております！



御卒業おめでとう御座います！！

3月20日(火)、工学部及び理工学研究科の平成23年度学位記授与式が開催されました。MOT(大学院理工学研究科のづくり技術経営学)の皆さんも、無事に晴れ姿で当日を迎えることができました。奥山級長さん、在学中のとりまとめご苦労さまでした。

そして皆様、おめでとう御座いました！（後列左から：奥山泰宏さん、小野寺敦司さん、中嶋龍郎さん、植松逸平さん、大沼雄司さん、曹娜さん、伊藤豊さん、堀川正和さん、石川雄太さん、前列左から：長岳征さん、土屋貴義さん。欠席：干坤さん。）

第八回イブニングサロン開催！(東日本大震災を考える) 1/2



お話をする育児サロン「ももりん」
代表 照井 美花 氏

●行政からは補助金等の支援を頂き感謝しておりますが、短期的(3月までとか)支援となつております。今後、避難生活も長期化することが予想されますので、出来るだけ先の見通しが立つような資金的支援を是非御願いしたいと思っております。

【質問】おもちゃや、絵本など要望の調達はで
きていますか？（男性）
●新聞やテレビでの報道もあり、個人の方
からおもちゃや寄付、その他の御支援を頂
き感謝しております。
【質問】行政の手助けは行き届いております
か？（男性）

●「おいで」が開設されており、「わたぼうしサークルさんなどとも連携をしてクリスマスと一緒に開催したり、横つながりを持つて活動しております。本日も、署名運動などを協力して進めております。行政の支援も頂いておりますが補助金として頂きました。

●有難うございます。本当に雪の多さには驚いておりますが、先が長いので負けずに頑張ります。

〔質問〕万世地区にも避難者のグループがあると思いますが、どのように連携されてますか？ また行政からの支援はどうですか

(1) 照井さんの質問と回答()
【質問】雪が多いところでびっくりされておられませんか? 大変だと思いますが共に頑張りましょう(女性)

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

三の

会場

易風

卷之三

THE JOURNAL OF CLIMATE

AEROSOL INDOOR AIR POLLUTION

Figure 1. A photograph of the two students in the classroom.

THE JOURNAL OF CLIMATE

当日の御質問と回答を掲載。

平成24年1月18日(水)、第八回イブニングサロンを山形大学工学部街中サテライトにて開催致しました。前回の引き続き、大震災をテーマにボランティア関係、避難者、専門家、関係機関の方々からお話を頂きました。



当日の会場風景

②綾部誠氏への質問と回答(●)

准教授 綾部 誠氏



●〔質問〕義援金が届かない、遅いといった話がある。どうすれば良かった? (男性)
●質疑応答の中でお答えさせて頂いた通りですが、公平性の原則を一定程度維持しつつ、必要な時に必要なお金を支給する仕組みが大事だと思います。特に性善説に則った、募金と税金を組み合わせた形での方法を今後は検討して欲しいと思つております。
この点についても本の中で述べていますので、参考にして頂ければ幸いです。



第八回イブニングサロン(東日本大震災を考える)2/2

講演される株式会社主席技監(理博)
綾部 統夫 氏



- 綾部統夫氏への質問と回答(●)
- 【質問】死ぬほど重大な支障(毒性)はないが、わざわざでも入っていれば食したくないという多数意見と風評被害。是非安全だといふ啓蒙を広めて欲しい(男性)
- これからもより確実な情報を多くの方に届け、一般的皆様が風評に惑わされないよう活動を続けていくつもりです。
- 【質問】原子力発電に賛成か反対か?理由も含めてお聞きします。・新自然エネルギーを開発についてどう考えるか?転換は絶対必要であるか?(男子高校生)
- CO₂の削減問題、化石燃料の枯渇問題を考えると、私個人は現状のエネルギーを安定的に供給するためには原子力発電は必要と考えています。
- これから先のことを考えると、存在量の限られた石油・石炭・天然ガスなどの化石資源は、燃やして熱や電気を作るためではなく、リサイクルを含めて化学品などの原
- 料として細く長く使うことが必要となります。また、太陽光や風力などの自然エネルギーを原子力発電に匹敵するような大量で導入するには広い設置場所の確保も含めて相当な時間が掛かると思いますし、↓



参加者の質問

- 高齢福祉課回答
H24年2月1日現在、介護保険施設等に入所している方は、
・特別養護老人ホーム……………9名
・認知症高齢者グループホーム……………1名
尚、施設への分散状況は不明です。
- 【質問】食品摂取による内部被爆を懸念。溜め込んで平準化する技術や省エネルギー技術もあわせて強力に進めることが必要でしょう。
- 【質問】放射能報道等は今回の講演内容等を何故公開しないのか?
年末から福島、山形市等でセシウムが多いデータが出ているようだが状況説明が無い。不要で不必要な情報ばかりで何を信じて良いのか不安だらけ。(女性)
- 私が講演で使ったデータは、全て公開された情報でインターネットなどでも集めることが出来ます。
- 【質問】死ぬほど重大な支障(毒性)はないが、わざわざでも入っていれば食したくないという多数意見と風評被害。是非安全だといふ啓蒙を広めて欲しい(男性)
- これからもより確実な情報を多くの方に届け、一般的皆様が風評に惑わされないよう活動を続けていくつもりです。
- 【質問】原子力発電に賛成か反対か?理由も含めてお聞きします。・新自然エネルギーを開発についてどう考えるか?転換は絶対必要であるか?(男子高校生)
- CO₂の削減問題、化石燃料の枯渇問題を考えると、私個人は現状のエネルギーを安定的に供給するためには原子力発電は必要と考えています。
- これから先のことを考えると、存在量の限られた石油・石炭・天然ガスなどの化石資源は、燃やして熱や電気を作るためではなく、リサイクルを含めて化学品などの原
- 料として細く長く使うことが必要となります。また、太陽光や風力などの自然エネルギーを原子力発電に匹敵するような大量で導入するには広い設置場所の確保も含めて相当な時間が掛かると思いますし、↓



講演される米沢市総務部危機管理室
主幹 細谷圭一 氏

- 【質問】幼稚園教育及び就業支援の取り組みは?(男性)
● こども課回答
【質問】高齢避難の中、市内の福祉施設利用者及び関連施設入所者数はどのくらいですか?また各施設への分散状況を知りたい。(女性)

- 高齢福祉課回答
H24年2月1日現在、介護保険施設等に入所している方は、
・特別養護老人ホーム……………9名
・認知症高齢者グループホーム……………1名
尚、施設への分散状況は不明です。
- 【質問】食品摂取による内部被爆を懸念。溜め込んで平準化する技術や省エネルギー技術もあわせて強力に進めることが必要でしょう。
- 【質問】放射能報道等は今回の講演内容等を何故公開しないのか?
年末から福島、山形市等でセシウムが多いデータが出ているようだが状況説明が無い。不要で不必要な情報ばかりで何を信じて良いのか不安だらけ。(女性)
- 私が講演で使ったデータは、全て公開された情報でインターネットなどでも集めることが出来ます。
- 【質問】死ぬほど重大な支障(毒性)はないが、わざわざでも入っていれば食したくないという多数意見と風評被害。是非安全だといふ啓蒙を広めて欲しい(男性)
- これからもより確実な情報を多くの方に届け、一般的皆様が風評に惑わされないよう活動を続けていくつもりです。
- 【質問】原子力発電に賛成か反対か?理由も含めてお聞きします。・新自然エネルギーを開発についてどう考えるか?転換は絶対必要であるか?(男子高校生)
- CO₂の削減問題、化石燃料の枯渇問題を考えると、私個人は現状のエネルギーを安定的に供給するためには原子力発電は必要と考えています。
- これから先のことを考えると、存在量の限られた石油・石炭・天然ガスなどの化石資源は、燃やして熱や電気を作るためではなく、リサイクルを含めて化学品などの原
- 料として細く長く使うことが必要となります。また、太陽光や風力などの自然エネルギーを原子力発電に匹敵するような大量で導入するには広い設置場所の確保も含めて相当な時間が掛かると思いますし、↓

- 高齢福祉課回答
H24年2月1日現在、介護保険施設等に入所している方は、
・特別養護老人ホーム……………9名
・認知症高齢者グループホーム……………1名
尚、施設への分散状況は不明です。
- 【質問】食品摂取による内部被爆を懸念。溜め込んで平準化する技術や省エネルギー技術もあわせて強力に進めることが必要でしょう。
- 【質問】放射能報道等は今回の講演内容等を何故公開しないのか?
年末から福島、山形市等でセシウムが多いデータが出ているようだが状況説明が無い。不要で不必要な情報ばかりで何を信じて良いのか不安だらけ。(女性)
- 私が講演で使ったデータは、全て公開された情報でインターネットなどでも集めることが出来ます。
- 【質問】死ぬほど重大な支障(毒性)はないが、わざわざでも入っていれば食したくないという多数意見と風評被害。是非安全だといふ啓蒙を広めて欲しい(男性)
- これからもより確実な情報を多くの方に届け、一般的皆様が風評に惑わされないよう活動を続けていくつもりです。
- 【質問】原子力発電に賛成か反対か?理由も含めてお聞きします。・新自然エネルギーを開発についてどう考えるか?転換は絶対必要であるか?(男子高校生)
- CO₂の削減問題、化石燃料の枯渇問題を考えると、私個人は現状のエネルギーを安定的に供給するためには原子力発電は必要と考えています。
- これから先のことを考えると、存在量の限られた石油・石炭・天然ガスなどの化石資源は、燃やして熱や電気を作るためではなく、リサイクルを含めて化学品などの原
- 料として細く長く使うことが必要となります。また、太陽光や風力などの自然エネルギーを原子力発電に匹敵するような大量で導入するには広い設置場所の確保も含めて相当な時間が掛かると思いますし、↓

- 高齢福祉課回答
H24年2月1日現在、介護保険施設等に入所している方は、
・特別養護老人ホーム……………9名
・認知症高齢者グループホーム……………1名
尚、施設への分散状況は不明です。
- 【質問】食品摂取による内部被爆を懸念。溜め込んで平準化する技術や省エネルギー技術もあわせて強力に進めることが必要でしょう。
- 【質問】放射能報道等は今回の講演内容等を何故公開しないのか?
年末から福島、山形市等でセシウムが多いデータが出ているようだが状況説明が無い。不要で不必要な情報ばかりで何を信じて良いのか不安だらけ。(女性)
- 私が講演で使ったデータは、全て公開された情報でインターネットなどでも集めることが出来ます。
- 【質問】死ぬほど重大な支障(毒性)はないが、わざわざでも入っていれば食したくないという多数意見と風評被害。是非安全だといふ啓蒙を広めて欲しい(男性)
- これからもより確実な情報を多くの方に届け、一般的皆様が風評に惑わされないよう活動を続けていくつもりです。
- 【質問】原子力発電に賛成か反対か?理由も含めてお聞きします。・新自然エネルギーを開発についてどう考えるか?転換は絶対必要であるか?(男子高校生)
- CO₂の削減問題、化石燃料の枯渇問題を考えると、私個人は現状のエネルギーを安定的に供給するためには原子力発電は必要と考えています。
- これから先のことを考えると、存在量の限られた石油・石炭・天然ガスなどの化石資源は、燃やして熱や電気を作るためではなく、リサイクルを含めて化学品などの原
- 料として細く長く使うことが必要となります。また、太陽光や風力などの自然エネルギーを原子力発電に匹敵するような大量で導入するには広い設置場所の確保も含めて相当な時間が掛かると思いますし、↓

グローバル展開のための国際人材育成 シンポジウム開催

「テーマ」 激変・激動する国際競争時代を勝ち抜くための人材の確保と育成



梅田明夫会長の挨拶と大勢の参加者

- 平成24年2月29日(水)東京第一ホテル米沢において、「グローバル展開のための国際人材育成シンポジウム」が開催されました。百名を越す大勢の皆様の御参加により、盛況の中で終了いたしました。
- 第一部**
- ① 開会の挨拶
 - ・もっとみらいコンソーシアム会長梅田明夫氏
 - ・山形大学工学部長 飯塚博氏
 - ・とくぼくみらい「ーストリーダー 高橋幸司氏
 - ② 講演
 - ・「激変する国際経済とグローバル人材の重要性」 山形大学大学院准教授 綾部誠氏
 - ・「国際的な視野拡大に向けた日本人学生と留学生への取り組み」准教授 仁科浩美氏
 - ・在校生による発表 修了生による発表
 - ・閉会挨拶 山形大学客員教授 加賀武志氏
 - ・ものづくり技術経営学専攻長 児玉直樹氏

梅田明夫会長の挨拶と大勢の参加者

長引く円高、東日本大震災、海外での自然災害、ヨーロッパの金融危機などが、今山形県内企業に深刻な影響を与えています。一方で国際社会でのグローバル化とボーダレス化が目まぐるしい勢いで進んでいます。日本国内では、少子高齢化による市場縮小と団塊世代・熟練工の大量退職、恒常的な財政赤字、若者の内向き志向などによって国際競争力の低下など諸課題が山積しています。このような状況下で日本企業の新たな事業展開や生き残りのための鍵となるのが、世界を舞台に活躍のできる優秀な国際人材の確保と人材の育成のための仕組みです。この「もっとみらいコンソーシアム」主催のシンポジウムでは、前述の視点からこれから時代を切り拓いていくために「国際人材の育成」に焦点をあてて議論を深め、東北の復興と地域企業の発展を目指しております。

現状を見つめ直し、新たな取り組みを模索されている方、人材の育成を重要視される方、是非コンソーシアムの保有する有用な機能を御活用下さい。



コンソーシアムとMOT専攻の関係者の皆さん

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻(MOT)は平成20年から経済産業省・文部科学省の共同委託事業である「アジア人材資金構想」に取り組んでおります。このプロジェクトは、世界各国から優秀な学生をリクルートし、高度な専門教育と技術経営学にかかる特殊教育を実施し、日本に関連する教育(日本語・日本ビジネス・日本事情・日本文化など)を行うものです。大学院を修了した留学生は山形県内に就職し、企業の海外における市場開拓、海外への技術移転、事業展開ネジメントなどの局面において中核的な役割を担います。これまでに数多くの優秀な留学生を山形県や東北地域に就職させ、企業のグローバル展開を推進・支援しております。

もっとみらいコンソーシアムへ、どうぞ御入会を！ コンソーシアム活動に興味・関心のある方は御入会下さい。
お申し込み、お問い合わせ先：もっとみらいコンソーシアム事務局 TEL:0238-26-3622 FAX:0238-26-3772

M1クラス便り…富田康男「追い出しコンパ開催！」



平成24年2月18日(土)、M1主催で街中サテライト2Fリーガルさんをお借りし「平成23年度MOT追い出しコンパ」を実施させて頂きました。出席者は、追い出される12名の皆さまをはじめ、先生方・OB・M1を含め過去最大の総勢41名となりました。当日は、朝から長時間にわたる『修論公聴会』での各自プレゼンの緊張感と、熱い質疑応答の議論から解放され、コンパでは、笑いあり・涙ありの最高の盛り上がりとなりました。卒業生の皆様、本当に疲れ様でした。おめでとうございました＼(^o^)／ また追いコン準備Pjのみんなも本当にご苦労様でした。

「MOT広場」

(自由投稿のページ)

今回は「(有)厚生社」、遠藤一生さん(MOT-2)からの会社紹介です。



本社全景(米沢市大字館山)

企業概要

名称 有限会社 厚生社

設立 昭和38年4月1日

代表者 代表取締役 遠藤信幸

所在地

本社:山形県米沢市大字館山262番地の2

中山処理場:山形県米沢市大字築沢字中山南7023-7

資源リサイクル施設:山形県米沢市直江石堤3675-5

TEL:0238-23-8105 FAX:0238-23-0290

資本金 1,000万円 従業員 49名(男子42名 女子7名)

業務内容

○一般・産業廃棄物収集運搬処分業務

(粗大ゴミ等含む)

○浄化槽に関する業務(維持管理・取り扱い・補修等)

○建築物飲料水貯水槽清掃業

○一般・集合住宅・公共下水道関連業務

(清掃業・点検調査(テレビカメラ使用))

○家屋解体業

○各種汚水処理維持管理業

○リサイクル業務:プラスチック(PET及び各種樹脂等)

リサイクル、希少金属の買取、電子機器類の解体分別、有機溶剤(IPA及びアルコール類)蒸留再生

(有)厚生社は設立以来、来年で50年の節目の年を迎えます。長引く不況の中、地域の皆様からの支えがあつてこそと感謝致しております。設立以来の経営理念として

- ・人間の生活に密着した環境整備
- ・廃棄物から資源への転換を目指す
- ・環境整備つくりのプロフェッショナルヒューマンの育成

以上の3点を掲げ、社員一人一人が環境整備のプロとして、自覚を持って、日々の業務に取り組んでいます。

創業当時は、大量生産、大量消費、大量廃棄の時代の中、当社では運搬のみではなく、適切な中間処理及び最終処分をしていくことを目標としてきましたが、時代の変化に伴い、処理業から、再生業への転換を図るべく、平成17年にリサイクル施設を立ち上げ、リサイクル事業に力を入れております。

「廃棄物」ではなく「重要な資源物」と捉え、「処理・処分」から「加工・製造」へ。原料(廃棄物)を調達、加工(再生)し、排出先に販売する(戻す)事で、自律的な資源循環の実現を新たな目標としております。特に、リサイクル事業では、米沢市内の障がい者授産施設と連携し、就労支援場所の提供を行い、取り組んで頑張っています!



資源リサイクル施設

リサイクル施設では、電子機器類解体、機密処理、用材再生まで取り組んでいます。



追記 昨年3月11日に発生した東日本大震災。当社でも、宮城県、山形県の両県庁から支援活動依頼があり、3月19日～5月31日まで津波被害の大規模な宮城県の山元町へ。5月1日～平成24年2月15日まで、同県岩沼市にそれぞれ入り、汚水吸引作業及び汚泥移送作業の業務に従事しました。多くの事を学んだ期間でした。今後も協力してゆきたいと思います。

育児サロン「もりん」さんに、モクロックを寄贈!

(株)ニューテックシンセイ(M-7桑原晃専務取締役)さんが製造し、好評発売中の「モクロック」(木で出来たブロック)2setを寄贈させて頂きました。3月13日、浅間・渡邊の両名でアクティーの現場を訪問し、代表の照井さんにお渡し致しました。当日は、約30名の親子の皆さん元気いっぱいに遊びまわっておりました。皆さんから、御礼の言葉と感謝の拍手を頂きましたので御報告致します。

**《編集後記》**

振り返ってみると、創刊号の発行が2009年10月でした。以来2年半を経過し、皆様の御協力を頂きながら第11号の発行を迎えることとなりました。

今回、紙面デザインをちょっと模様替えを致しました。新たな気持ちで次のステップに向けて進みたいとおもっております。東北大震災から、あつという間に1年が過ぎましたが、復興はまだまだの感があります。特に放射能問題は、これから長期間の、息の長い根気のいる、遠大な取り組みになります。

住み慣れたふるさとから離れるを得ない沢山の人々のこれから的人生は、全く予測のつかないものでしょう。繰り返される歴史の流れの中で、自己を見失うことなく対処してゆくには、格段の強い意志が必要でしょうが、それでも流れに翻弄されてしまうかもしれません。些細な小さな支援かもしれませんのが、我々のできる支援がその流れを止められなくても、緩やかな流れに変えることはできるかもしれません。

支援の手を止めずに、長期的な継続した支援を続けましょう。

先日は、浪江町(長井市)の鈴木酒造店様や、育児サロンもりんの皆様から感謝の言葉を頂きました。会員の皆様の御協力に御礼申し上げます。

<編集委員一同>

MOT事務局より、大学の動きやMOT専攻に関する情報を御知らせ致します。
 ☆今年度の4月入学者は、7名(前期6名、後期1名)です。尚、昨年10月入学者は5名(前期)で合計12名となりました。
 次号から『私の近況』コーナーを設けます。
 編集委員からメールでお問い合わせをさせて頂き、「返事を掲載させて頂きます。
 うぞこれからも宜しく御願い致します。
 MOT事務局
 御協力願います。
 ≪編集部より≫